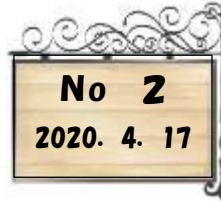


県尼進路だより

～ Starting All Over Again!

調査書と評定平均



調査書とは

調査書とはみなさんの学習活動や学校生活について記載された文書で希望進路先の選考資料のひとつとなるものです。ホームページにアップするのに適した画像が見当たらなかったら、気になる人はネットで画像検索してみてください。業者さんの画像は見やすいです。学習の記録や生活記録を記すところがあるのがわかると思います。

この様式は文部科学省によって指定されているので一律です。今年変更される予定です。記述する量は増えますが、記入される内容は大きく変わりません。

学習記録は「各教科の学習記録」「各教科・科目等の評定平均値」「全体の評定平均値」「学習成績概評」など。生活記録は「出欠の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「総合的な学習の時間の内容・評価」「備考」などです。一般的に、調査書は出願のときに提出する書類の1つとなります。

評定平均値＝学習成績の状況

評定平均値とは、高校1年から高校3年までの履修した科目の評定（5段階の成績）を合計して、その科目数で割ったものです。新しい調査書では学習成績の状況と名称が変更される予定ですが、同じです。（以下「学習成績の状況」）



高校3年の成績は2学期に出願する場合は、1学期の成績を用います。3学期に出願する場合は2学期までの、浪人などで次年度受験の場合は3学期までの成績を用いることとなります。高校1年と2年の成績はすでに確定していますが、高校3年の成績はこれからです。特に2学期に出願するつもりであれば1学期の成績が重要です。現状では考査をはじめ、1学期をどうあつかうようになるかわかりませんが、だからこそこの臨時休業中に学力を落とすことの無いようしっかりと学習に取り組んでください。

☆ 「学習成績の状況」の出し方（文部省のHPより抜粋）

例えば 理科において1年の物理基礎が3 2年の化学基礎が3 3年の生物基礎が5の場合
評定の合計数は $3+3+5=11$ なので $11 \div 3 = 3.66$
小数点第2位以下は四捨五入となるので理科の「学習状況の成績」は、「3.7」となる。

各教科ごとの「学習状況の成績」も同様に出される。また全体の「学習状況の成績」は、すべての教科・科目の評定の合計数をすべての評定数で除した数値となる。

学習成績概評

調査書には学習成績概評も記されます。これは学習成績の状況をもとに、高校での成績をA～Eの5段階に分け、その生徒の属する成績段階を示すものです。右の表は文部科学省のHPに記されているものです。

※ Aのなかでも特に学校長が責任をもって推薦できる者には㊤と標示できますが、最近はあまり例がないようです。

各教科・科目の評定 平均値の平均	学習成績概評
5.0～4.3	A
4.2～3.5	B
3.4～2.7	C
2.6～1.9	D
1.8以下	E

「学習状況の成績」や学習成績概評の成績基準は大学・学部によって様々です。昨年度の例を一部示しておきます。ただ昨年の進路だより冬号でお知らせしたとおり今年が入試が変わる年ですので変更の可能性もあります。志望校の入試要項はしっかりチェックしてください。

- ・京都産業大学：総合評価型の公募制推薦入試／神戸学院大学：スタンダード型公募制推薦入試
どちらも評定平均値×20（計100点）＋当日の試験（200点）の合計で合否が決定されます。
- ・関西学院大学：理工学部の公募制推薦入試の出願条件は「外国語」、「数学」、「理科」3教科の評定平均値が3.5以上。
- ・大阪教育大学：センター試験を課す推薦入試の出願条件は全体の評定平均値が3.5～4.0以上
＋希望する専攻によってさらに条件が課されます

自分の目標とする志望校の基準など過去の入試データを自分で確認し、1学期の成績の目標を立てて下さい。ただし、今の評定を担任の先生に聞きに行ってもすぐにはわかりません。過去を振り返るより、未来に向けて努力をしましょう。

— 努力すれば報われるって、ずっと信じてきたんだ。

b y マイケル＝ジョーダン